

事業コード	R元-建-継-07			区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)			部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)			班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	(一) 白岩角館線			担当課長名	道路課長 佐藤 秀治
箇所名	仙北市角館菌田(大威徳橋)			担当者名	副主幹(兼) 班長 渡部 寿
総合計画との関連	政策コード	03	政策名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略	
	施策コード	05	施策名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進	
	指標コード	04	施策目標(指標)名	生活道路の機能強化	

1. 事業の概要

事業期間	H20～R4（15年）		総事業費	14.9 億円		国庫補助率	59.50
事業規模	○延長L=780m、幅員W=6.0(11.0)m（1.25+3.0+3.0+1.25+2.50)m						
事業の立案 に至る背景	○一般県道白岩角館線は、仙北市南部の沿道集落の通勤、通学、通院等の日常生活を支える重要な路線である。しかし、当該区間は急カーブ(Rmin=12m)が連続しているほか、通学路に指定されているにも関わらず歩道が未整備となっており、通行の安全が確保できていない状況となっている。また、大威徳橋は昭和37年の架設から50年以上が経過しており、老朽化が進行している。渡架地点の玉川では広域河川改修が実施されており、橋梁の架替えを要することから、河川改修と整合を図った当該区間の道路改良を行うことで、生活道路として利用する地域住民の安全を確保する。						
事業目的	○老朽化した橋梁の更新を含むバイパス整備による安全で円滑な交通の確保						
事業費内訳 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費		1,235,000	1,492,000	257,000		
	経 費 内 訳	工事費	1,054,000	1,304,000	250,000	橋梁資材単価が上昇したことによる増	
		用補費	95,000	95,000	0		
		その他	86,000	93,000	7,000	積算資料作成業務委託による増	
	財 源 内 訳	国庫補助	808,307	887,740	79,433		
		県 債	384,000	543,800	159,800		
		その他					
		一般財源	42,693	60,460	17,767		
	事業内容		調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工		国庫補助率の変更による	
事業の進捗 状況	○平成30年度末で事業進捗率59%（用地進捗率は100%）						
事業推進上 の課題	○特になし						
関連する計 画等	○一級河川 玉川 広域河川改修事業 ○仙北市総合計画						
情勢の変化 及び長期継 続の理由	○特になし						
事業効果把 握の手法及 び効果	指 標 名		県管理道路改良率				
	指 標 式		整備率（整備済み延長／路線実延長）				
	指標の種類		○ 成果指標 ● 業績指標		低減指標の有無	○ 有 ● 無	
	目 標 値 a		78.9 %		データ等の出典	道路課調べ	
	実 績 値 b		79.0 %				
	達成率 b／a		100.1 %		把握の時期	平成31年 4月	

前回評価結果等	☒ 選定または継続 ☐ 改善 ☐ 見直し ☐ 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	○当該区間は線形不良 (最小曲線半径 12 m) で、冬期堆雪幅がなく、1 年を通した交通の安全確保が望まれる。 ○通学路指定区間にも関わらず歩道がなく、H12 年には死亡事故が発生している。	10 点
緊 急 性	○大威徳橋は、架設後 50 年以上経過しており、老朽化によるコンクリートの劣化が著しいことから、早急な架替えが必要である。 ○玉川の河川改修事業と併せて架替えを実施する必要がある。	10 点
有 効 性	○救急医療施設である市立角館総合病院へのアクセス道路としても利用され、防災上重要な路線である。	28 点
効 率 性	○事業の費用便益比は 1.44 であり、効率性は高い。 ・総便益の現在価値 22.6 億円 ・総費用の現在価値 15.7 億円 ○橋梁形式を少主桁 PC 床版とすることで、維持管理費を低減。	18 点
熟 度	○平成 30 年度末の事業進捗率は 59 % である。	18 点
判 定	ランク (●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ)	84 点
	緊急性、有効性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総 合 評 価	☒ 継続 ☐ 改善して継続 ☐ 見直し ☐ 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価

適用基準名 道路改築事業（地域内・生活圏交通促進）

事業コード（ R元一建一継一07 ）

箇所名（ 仙北市角館蘭田(大威徳橋) ）

1. 評価内訳

観 点	評価項目 細別	評価基準	配 点	評価点	摘 要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	8	5	・最小半径12m ・冬期耐雪幅なし 2箇所
	・車道幅員<5.5m	2箇所	5		
	・最小半径<100m	1箇所	3		
	・最急勾配>4%	該当箇所なし	0		
	・冬期堆雪巾なし				
	道路環境上の欠陥該当項目	3項目該当	7	5	・通学路指定歩道なし ・重大事故（H12死亡事故） 2項目
	・現道の混雑度 ≥ 1.0 又は走行速度 $\leq 30\text{km/h}$	2項目該当	5		
	・現道の事故率 ≥ 50 件又は重大交通事故が発生	1項目該当	3		
	・通学路指定で歩道なし又はバス路線で歩道なし	該当項目なし	0		
	計		15	10	
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無	あ り	5	5	一級河川玉川広域河川改修 仙北市総合計画
	・県の主要プロジェクト	な し	0		
	・地域振興プロジェクト				
	・ほ場整備等の他事業				
	緊急度の高い課題の有無	あ り	5	5	老朽橋（架設後50年以上経過）
	老朽橋、災害危険箇所、迂回路の確保	な し	0		
	冬期通行不能区間等				
	同一路線の整備状況	整備済み	5	0	
		未整備	0		
	計		15	10	
有効性	道路の位置づけ				
	地域コミュニティの確保	該当する	7	7	白岩集落センター
	（公共交通、公共施設・交流施設など）	該当しない	0		
	救急医療施設へのアクセス	アクセス性向上に大きく貢献	8	8	市立角館総合病院
		アクセス性向上に貢献	6		
		アクセス性向上への貢献が小さい	4		
	地域防災計画に重要な道路	該当する	7	7	仙北市地域防災計画に沿線 避難所位置づけ
		該当しない	0		
	社会変化による事業の必要性	必要性が高い	8	6	
		必要性に変化はない	6		
		必要性が低い	4		
		必要性が著しく低下	0		
	計		30	28	
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比（B/C）	1.0以上	5	5	1.44
		1.0未満	0		
	計画交通量	5,000台/日以上	5	3	2,800台/日
		1,000台/日以上～5,000台/日未満	3		
		1,000台/日未満	0		
	コスト削減	あ り	5	5	橋梁形式を少主桁PC床版とし、維持管理費を低減
		な し	0		
	事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5	大規模バイパス
		既投資額の部分的損失	4		
		既投資額の損失が少ない	3		
	計		20	18	
熟 度	事業の進捗状況				
	事業の進捗（事業費）	8割以上完了	10	8	59%
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
	用地買収の進捗（面積）	8割以上完了	10	10	100%
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
		未着手	0		
	計		20	18	
合 計			100	84	

2. 判 定

ランク	判定内容	配 点	判定	摘 要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		